

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社

コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野中正樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長

(氏名) 沼倉潤一

TEL 026-275-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
22年3月期第3四半期	6,152	△46.6	△1,142	—	△1,104	—	△1,109	—
21年3月期第3四半期	11,516	—	246	—	244	—	△93	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△89.23	—
21年3月期第3四半期	△7.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
22年3月期第3四半期	12,434	5,532	44.5	445.07
21年3月期	13,512	6,592	48.8	530.28

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,532百万円 21年3月期 6,592百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	0.00	2.50
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	8,300	△39.5	△1,580	—	△1,610	—	△1,610	—	△129.52

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	12,969,000株	21年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	538,412株	21年3月期	537,475株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	12,431,148株	21年3月期第3四半期	12,871,185株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月14日発表の通期連結業績予想を修正しておりません。上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前連結会計年度からの世界的な景気後退の影響を受け、企業収益の悪化や個人消費の低迷が続くなど厳しい状況で推移いたしました。

こうした環境の中、当社グループは、前連結会計年度後半から引き続いて今まで以上の徹底的な経費削減の実施ならびに販売競争力を強化するため、全社をあげてコスト削減に取り組んでまいりました。ウェハレベルパッケージ向け装置及びLED向け装置の短納期対応ならびに電子部品の需要回復などにより、期初計画以上の売上高を確保することができたものの、全般的には半導体メーカー各社の設備投資抑制が継続され、依然として市場環境は厳しく売上高は低迷いたしました。なお、従来から推し進めている新規事業の電子通信部品につきましては、第2四半期連結会計期間より量産を開始しており、今後、より一層の安定した生産・供給体制を整備し生産量の増加及び応用製品の拡充を図ってまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,152百万円（前年同四半期比46.6%減）、営業損失1,142百万円（前年同四半期は営業利益246百万円）、経常損失1,104百万円（前年同四半期は経常利益244百万円）、四半期純損失1,109百万円（前年同四半期は四半期純損失93百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 半導体製造装置

半導体製造装置については、第2四半期連結会計期間から引き続いてウェハレベルパッケージ向け装置及びLED向け装置など一部で受注が好調に推移いたしました。が、全体的には前連結会計年度からの世界的な景気後退の影響により、半導体メーカー各社の設備投資は凍結状態で推移し、売上高は大幅な減少となり損失計上となりました。この結果、売上高は1,868百万円（前年同四半期比54.5%減）、営業損失は394百万円（前年同四半期は営業利益308百万円）となりました。

② 金型

金型については、半導体製造装置と同様に半導体メーカー各社の設備投資抑制の影響を受け、大幅な売上高減少となり損失計上となりました。この結果、売上高は1,875百万円（前年同四半期比52.4%減）、営業損失は177百万円（前年同四半期は営業利益587百万円）となりました。

③ リードフレーム等

リードフレーム等については、LED向け及び車載半導体向け製品等で需要回復の兆しがあり、また新規事業である電子通信部品においても順調に推移いたしました。が、本格的な回復までには至らず損失計上となりました。この結果、売上高は2,409百万円（前年同四半期比30.6%減）、営業損失は125百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本については、第3四半期連結会計期間において半導体市場の回復に伴い半導体メーカー各社の国内工場の稼働率は回復傾向にはあるものの設備投資にまで至っていない状況でありましたが、LEDや自動車用車載電子部品の引合は増加傾向で推移いたしました。が、売上高は前年同四半期比で大幅な減少となり損失計上となりました。この結果、売上高は4,632百万円（前年同四半期比44.9%減）、営業損失は509百万円（前年同四半期は営業利益700百万円）となりました。

② アジア

アジアについては、台湾の半導体メーカーを中心に設備投資が徐々に行われるようになってきましたが、顧客からのコストダウン要求などによる価格競争の激化等により、全体的には低調で推移いたしました。この結果、売上高は1,519百万円（前年同四半期比51.1%減）、営業損失は188百万円（前年同四半期は営業利益118百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、12,434百万円（前連結会計年度末は13,512百万円）となり、前連結会計年度末と比較して1,077百万円減少いたしました。これは主に有価証券の減少ならびに受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、6,901百万円（前連結会計年度末は6,920百万円）となり、前連結会計年度末と比較して18百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,532百万円（前連結会計年度末は6,592百万円）となり、前連結会計年度末と比較して1,059百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は44.5%（前連結会計年度末は48.8%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、321百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には3,581百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は150百万円の減少（前年同四半期は1,187百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は10百万円の減少（前年同四半期は397百万円の減少）となりました。これは主に金型用の加工設備を中心とした有形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は149百万円の減少（前年同四半期は71百万円の増加）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が第2四半期連結会計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸高を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,581,299	3,108,146
受取手形及び売掛金	1,544,942	1,804,254
有価証券	—	1,000,000
商品及び製品	910,441	719,982
仕掛品	1,184,025	1,333,825
原材料及び貯蔵品	377,944	411,592
その他	226,362	256,572
貸倒引当金	△1,081	△3,489
流動資産合計	7,823,934	8,630,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,661,451	1,756,882
機械装置及び運搬具（純額）	733,929	743,703
土地	853,512	850,780
その他（純額）	154,606	215,723
有形固定資産合計	3,403,499	3,567,090
無形固定資産	227,570	265,298
投資その他の資産		
関係会社出資金	523,904	581,881
その他	466,516	489,883
貸倒引当金	△11,056	△22,899
投資その他の資産合計	979,364	1,048,865
固定資産合計	4,610,435	4,881,254
資産合計	12,434,369	13,512,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,726,366	1,315,325
短期借入金	2,700,000	2,730,000
1年内返済予定の長期借入金	168,000	132,000
未払法人税等	8,632	16,812
賞与引当金	61,023	127,469
製品保証引当金	41,197	39,317
その他	788,227	736,608
流動負債合計	5,493,447	5,097,532
固定負債		
長期借入金	452,000	578,000
退職給付引当金	852,488	859,421
その他	103,897	385,050
固定負債合計	1,408,386	1,822,471
負債合計	6,901,833	6,920,003

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	476,948	1,586,128
自己株式	△99,062	△98,899
株主資本合計	6,215,385	7,324,729
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△392	△23,676
為替換算調整勘定	△682,457	△708,916
評価・換算差額等合計	△682,849	△732,592
純資産合計	5,532,535	6,592,136
負債純資産合計	12,434,369	13,512,140

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	11,516,190	6,152,838
売上原価	8,992,172	5,649,331
売上総利益	2,524,017	503,507
販売費及び一般管理費	2,277,184	1,645,662
営業利益又は営業損失 (△)	246,833	△1,142,155
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,796	4,261
受取技術料	21,717	25,379
助成金収入	—	79,698
その他	73,217	45,879
営業外収益合計	101,731	155,219
営業外費用		
支払利息	37,335	51,063
持分法による投資損失	42,485	46,402
為替差損	1,973	12,025
売上債権売却損	18,799	4,630
その他	3,639	3,025
営業外費用合計	104,233	117,147
経常利益又は経常損失 (△)	244,331	△1,104,083
特別利益		
固定資産売却益	27,059	15,040
貸倒引当金戻入額	17,505	14,449
その他	7,680	73
特別利益合計	52,245	29,563
特別損失		
固定資産売却損	23,019	416
固定資産除却損	2,595	1,181
投資有価証券評価損	13,272	27,900
持分変動損失	112,953	—
特別損失合計	151,841	29,498
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	144,735	△1,104,018
法人税、住民税及び事業税	75,103	6,852
法人税等調整額	154,865	△1,690
法人税等合計	229,968	5,161
少数株主利益	7,891	—
四半期純損失 (△)	△93,124	△1,109,180

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	144,735	△1,104,018
減価償却費	461,731	374,347
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,596	△14,250
賞与引当金の増減額(△は減少)	△66,181	△66,599
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△7,680	1,880
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,131	△6,932
受取利息及び受取配当金	△6,796	△4,261
支払利息	37,335	51,063
為替差損益(△は益)	△742	17,037
持分法による投資損益(△は益)	42,485	46,402
固定資産売却損益(△は益)	△4,039	△14,623
固定資産除却損	2,595	1,181
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△73
投資有価証券評価損益(△は益)	13,272	27,900
持分変動損益(△は益)	112,953	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,621,662	260,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	△208,854	5,523
未収消費税等の増減額(△は増加)	63,103	25,250
その他の流動資産の増減額(△は増加)	50,370	△38,980
仕入債務の増減額(△は減少)	△421,248	414,031
その他の負債の増減額(△は減少)	△393,587	△73,942
その他	18,559	11,792
小計	1,429,948	△86,972
利息及び配当金の受取額	7,076	4,723
利息の支払額	△37,556	△50,859
法人税等の支払額	△215,097	△27,302
法人税等の還付額	3,194	9,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,187,566	△150,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△279,579	△275,224
有形固定資産の売却による収入	49,081	54,719
無形固定資産の取得による支出	△155,167	△6,924
投資有価証券の取得による支出	△448	△448
投資有価証券の売却による収入	—	14,126
定期預金の払戻による収入	—	205,000
その他の支出	△12,398	△3,031
その他の収入	641	995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397,871	△10,787

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	150,000	△30,000
長期借入れによる収入	600,000	—
長期借入金の返済による支出	△484,240	△90,000
自己株式の取得による支出	△85,999	△163
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△27,169	△28,795
配当金の支払額	△81,408	△484
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,182	△149,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,675	△10,873
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	838,202	△321,846
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,212	3,903,146
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△263,317	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,997,098	3,581,299

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	半導体製造 装置 (千円)	金型 (千円)	リードフ レーム等 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,106,722	3,937,671	3,471,795	11,516,190	—	11,516,190
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,326	3,886	—	6,212	(6,212)	—
計	4,109,048	3,941,557	3,471,795	11,522,402	(6,212)	11,516,190
営業利益（△損失）	308,875	587,329	△77,167	819,037	(572,203)	246,833

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	半導体製造 装置 (千円)	金型 (千円)	リードフ レーム等 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,868,365	1,875,229	2,409,244	6,152,838	—	6,152,838
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,415	2,170	—	3,585	(3,585)	—
計	1,869,780	1,877,399	2,409,244	6,156,424	(3,585)	6,152,838
営業損失	394,818	177,779	125,304	697,902	(444,252)	1,142,155

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,405,890	3,110,299	11,516,190	—	11,516,190
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,048,728	785,770	1,834,498	(1,834,498)	—
計	9,454,618	3,896,069	13,350,688	(1,834,498)	11,516,190
営業利益	700,675	118,362	819,037	(572,203)	246,833

当第３四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年12月31日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,632,901	1,519,937	6,152,838	—	6,152,838
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	297,541	101,445	398,986	(398,986)	—
計	4,930,442	1,621,382	6,551,825	(398,986)	6,152,838
営業損失	509,644	188,258	697,902	(444,252)	1,142,155

〔海外売上高〕

前第３四半期連結累計期間（自平成20年４月１日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	5,881,160	20,412	5,901,573
II 連結売上高（千円）	—	—	11,516,190
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	51.1	0.2	51.3

当第３四半期連結累計期間（自平成21年４月１日 至平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（千円）	3,108,407	377,237	3,485,644
II 連結売上高（千円）	—	—	6,152,838
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	50.5	6.1	56.7

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（千円）	前年同四半期比（％）
半導体製造装置	1,904,559	49.5
金型	1,267,740	42.0
リードフレーム等	2,379,626	71.6
合計	5,551,925	54.5

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高（千円）	前年同四半期比（％）	受注残高（千円）	前年同四半期比（％）
半導体製造装置	3,523,271	101.9	2,462,443	171.7
金型	2,266,685	80.4	1,126,121	108.5
リードフレーム等	2,645,891	74.5	365,898	110.9
合計	8,435,849	85.8	3,954,463	141.1

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（千円）	前年同四半期比（％）
半導体製造装置	1,868,365	45.5
金型	1,875,229	47.6
リードフレーム等	2,409,244	69.4
合計	6,152,838	53.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）	
	金額（千円）	割合（％）	金額（千円）	割合（％）
Sumiko Leadframe (Thailand) Co., Ltd.	1,390,837	12.1	909,933	14.8

3. 金額には消費税等は含まれておりません。